

保護者 様

荘内中学校における評価・評定について

中学校区一貫教育校園

玉野市立荘内中学校

校長 住田義広

日頃より、本校教育の充実について、ご支援いただき感謝申し上げます。

ご承知のとおり、本校では「荘内中まなびスタイル」(先行学習を基盤とした協同学習)を進め、学習指導要領が求める学習活動の充実を推進しております。昨年度末から新年度当初にかけて保護者の方々にはお伝えしておりますが、今年度からの評価評定や学力向上の取組の内容を今一度お伝えしますので、ご家庭での学習指導に活用願います。

1 評価評定について

評価評定については、各教科、単元ごとに授業内の学習への取組状況や学習課題への取組内容等に加え、単元末テストの結果及び再チャレンジ結果等を総合して観点別評価を実施し、各学期内の全単元の観点別評価を総合して評定を行っております。

(1) 観点別評価について(次の3つの観点ごとにABCにより評価します。)

①知識・技能

理解を伴った知識を基に、他の場面でも応用できる知識や技能の取得状況の評価

②思考・判断・表現

自分の考えを表現したり、課題に対して最適な答えを思考・判断したりする状況の評価

③主体的に学習に取り組む態度

学習に粘り強く取り組み、自らの学習をよりよい学びに調整している状況の評価

観点別の達成度	83%以上	82%から51%	50%以下
観点評価	A	B	C

(2) 評定について

3観点の状況によって「評定」が決定することになります。

5:「十分満足できるもののうち、特に程度が高い」状況と判断されるもの

4:「十分満足できる」状況と判断されるもの

3:「おおむね満足できる」状況と判断されるもの

2:「努力を要する」状況と判断されるもの

1:「一層努力を要する」状況と判断されるもの

2 得点力をアップデートするために「2か月サイクル学習」の実施

評価評定とは別に得点力も重要ですので、水準を満たした業者テスト実施による学習サイクルを進めています。

①2か月程度の期間で年間をととして「学力診断テスト」を実施しています。

1年生は4回、2年生は5回、3年生は7回、これに加え国・県の学力診断テストあり

②学力診断テスト間でチャレンジする内容は次のとおりです。

・結果の分析で弱点を整理→次回テストまでの学習計画→弱点領域にチャレンジ

弱点領域へのチャレンジは、スタディサプリやミライシード、チャレンジノートや問題集等で取り組むよう指導しています。

※学力診断テストは、業者が学習水準を担保して作成していますので、高校入試時の得点力を図ることに適しています。入学以降、3年生の12月の進路決定までに自分の得点力をアップデートしていく取組を継続させていきたいと考えています。これまで行われていた定期考査等は教員が作成したものであり、得点力の参考にはなりません。得点力については「学力診断テスト」を判断資料としてください。